

当期利益8千4百万円の黒字を見込んでおります。来年度の開催日程につきましては、既舎関係者の意見を聞きながら通年ベースでの日程を検討、収支見通しについては、今年度作成した事業収支改善計画に基づき、今後予算編成に当たって参りますし、低コスト体質への構造転換を図ると共に、更なる経費削減に取り組んでいくことが重要と考えます。

質問 平成28年の岩手国体について、県が行った意向調査において奥州市はどのように回答したのか、また、奥州市の開催競技について伺います。

市長 震災による競技会予定施設への影響はなく、予定どおり開催できる。競技施設の整備は、既存施設の活用を基本とし、可能な限り縮小する。県実行委員会への、市職員の長期派遣についても前向きに検討する等との回答、予定されている7競技の奥州市開催を強く要望したところです。

教育委員長 本市における国体開催競技は、馬術・カヌー・ボクシング・バスケットボール・卓球・弓道・ウエイトリフティングの7競技となっております。

○市道増沢高堂線及び中沢萩屋敷線の道路整備について
○衣川総合支所建設について



たかはし みずお
高橋 瑞男

質問 3月にも質問している増沢高堂線の工事ですが、その時の答弁では人家、財源がない、費用対効果がない等、地権者住民にもその様に説明しています。地権者は納得せず無許可で道路の土砂をはらい2屯車まで通行可能となったが、この状況をどう捉えているか伺います。

市長 前回申しした通りです。工事が今すぐ出来ないことを残念に思っております。県と相談し指導を受け、工事は多額で保安林水源涵養林の解除に時間を要するとともに更なる資金が必要となり、何か特別の変化があればそれにて対応したいと考えています。

質問 市道中沢萩屋敷線ほか一路線の道路拡張について3月の答弁は市総合計画に向け搭載検討しますとの回答でした。後期計画に搭載されたのか伺います。

市長 市道中沢萩屋敷線ほか一路線の道路拡張についてはまだ搭載しておりませんが、この道路につ

いては住民の大事な生活道路と認識しております。総合計画では25路線整備しております。今年度は258件の要望があり順次総合的に検討し搭載します。

質問 3月、4月の地震により損壊した衣川総合支所の建設計画について伺います。

市長 市民の利便性を考え駐車場用地費を補正予算に計上しました。平成25年耐震改修工事として6千万円確保しましたが、損傷が大きいことから見直しが必要となりました。新庁舎については市区民のご意見を頂戴し検討します。

○自然エネルギーの本格活用
○防災計画の見直しについて



すがわら あきら
菅原 明

質問 東京電力福島原発事故は、原発に依存したエネルギー政策を、このまま続けていいのかという、重大な問題を突きつけています。そして、原発からの撤退と自然エネルギーへの大胆な転換の世界的流れは、この事故を契機に、さらに大きくなっています。奥州市は

どこの区も自然豊かな環境に恵ま



黒滝温泉で活用している木質バイオマスガス化発電

れていますから、この立地状況を生かした、自然エネルギーの活用へ、先導的役割を果たしていただきたいと考え、今後の自然エネルギー政策について、どのように進められようとしているか伺います。

市長 平成21年に奥州市環境基本計画を策定し、地球温暖化防止、環境負荷低減の方策として、再生可能なエネルギーを活用するとの考えのもと、市政運営をしてきています。現在取り組んでいることは、公共施設への導入等で、具体的ものは小規模であります。小中学校の街灯や街路灯、温泉施設などへの太陽光発電や、太陽光発電と風力発電の併用と、設備の導入を行なっています。今後、設置条件など総合的に勘案しながら、模索していくことが、これからの